

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月30日

上場会社名 株式会社 セゾンテクノロジー 上場取引所 東
 コード番号 9640 URL <https://www.saison-technology.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 葉山 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 吉原 淳 TEL 03-6370-2930
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,485	△1.5	463	23.8	483	23.5	318	28.1
2025年3月期第1四半期	5,569	△5.9	374	△40.5	391	△39.7	248	△32.4

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 231百万円 (△28.0%) 2025年3月期第1四半期 322百万円 (△30.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	19.64	—
2025年3月期第1四半期	15.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	20,709	13,738	66.3
2025年3月期	21,179	14,235	67.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 13,738百万円 2025年3月期 14,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,200	△3.4	800	△11.9	780	△14.4	530	△11.3	32.72
通期	23,400	△4.0	2,300	7.4	2,260	4.6	1,600	6.2	98.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	16,200,000株	2025年3月期	16,200,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	584株	2025年3月期	584株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	16,199,416株	2025年3月期1Q	16,199,416株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、雇用や所得環境の改善等により緩やかな回復基調にあります。米国の通商政策等による不透明感がみられます。加えて、物価上昇に伴う個人消費へのマイナス影響等による景気下振れリスクの高まりや金融資本市場の変動等の影響に留意する必要があり、先行きについても依然として不透明感がみられます。当社グループが属する情報サービス産業においては、国内経済の回復や企業・自治体におけるクラウド・AI活用のニーズ拡大を背景に、IT投資が引き続き拡大するものと予想しております。

このような中、当社グループは、「世界中のデータをつなぎ、誰もがデータを活用できる社会を作る」をミッションとし「4つのシフト（事業シフト・技術シフト・組織シフト・人材シフト）」を戦略として掲げ、HULFT事業・データプラットフォーム事業を中心としたデータ連携ビジネスの更なる拡大に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、下表のとおりです。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期連結累計期間	5,485	463	483	318
前第1四半期連結累計期間	5,569	374	391	248
増減率	△1.5%	23.8%	23.5%	28.1%

減収の主な要因は、システム受託事業におけるシステム開発案件の減少等によるものです。なお、HULFT事業及びデータプラットフォーム事業は拡大しており、その結果、当社グループが事業シフト進捗を測る指標として設定しているデータ連携ビジネス売上比率は、58.0%（前年同期比6.4ポイント増）となりました。増益の主な要因は、システム受託事業における収益性の改善等によるものです。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。以下、セグメント間取引については相殺消去しておりません。

なお、前連結会計年度において、報告セグメントは「HULFT事業」、「データプラットフォーム事業」、「流通ITサービス事業」、「フィナンシャルITサービス事業」としていましたが、当連結会計年度より「流通ITサービス事業」と「フィナンシャルITサービス事業」を統合し、セグメント区分は「HULFT事業」、「データプラットフォーム事業」、「システム受託事業」に変更しております。

当社は、事業戦略の一環として「組織シフト」を掲げ、機能別組織への改組を通じて、エンジニア間の相互連携を強化し、これまで顧客業種ごとに行われていたシステム受託ビジネスを横断的に展開できる体制を整えてまいりました。流通ITサービス事業における大型案件が前連結会計年度に終息したことを受けて、組織リソースの最大化を図り、これまで以上に適切な意思決定を行うために、セグメント区分の変更をすることとしました。

前第1四半期連結累計期間との比較・分析は、変更後の名称・区分により行っております。

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益又は損失(△)		
	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	増減率	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	増減率
HULFT事業	2,326	2,473	6.3%	1,018	1,029	1.0%
データプラットフォーム事業	548	706	28.8%	△676	△746	—
システム受託事業	2,694	2,305	△14.5%	31	180	472.8%
計	5,569	5,485	△1.5%	374	463	23.8%
調整額	—	—	—	—	—	—
合計	5,569	5,485	△1.5%	374	463	23.8%

① HULFT事業

当事業では、国内におけるデータ連携ソフトウェアのスタンダードである当社の主力製品「HULFT」、
「DataSpider Servista」及び関連製品の販売・サポートサービスを提供しております。

売上高は、2,473百万円（前年同期比6.3%増）となりました。増収の主な要因は、ライセンス販売及びサポートサービス売上が増加したこと等によります。当第1四半期連結累計期間におけるライセンス販売売上は、システム更改に伴う大型案件の獲得等により、前年同期比15.7%増となり、また、サポートサービス売上は、更新が順調に推移したこと等により、前年同期比5.6%増となりました。営業利益は、1,029百万円（前年同期比1.0%増）となりました。増益の主な要因は、売上高の増加等によります。

② データプラットフォーム事業

当事業では、当社の強みである「HULFT」、「DataSpider Servista」及び日本発クラウド型データ連携プラットフォーム「HULFT Square」を活用し、企業内・企業間のシステムとSaaSのデータを連携することで、業務効率化及び経営刷新を図るサービスを提供しております。

売上高は、706百万円（前年同期比28.8%増）となりました。増収の主な要因は、「HULFT Square」の売上が増加したこと等によります。生成AIの進化等を背景としたデータ利活用の促進や、レガシーシステムのマイグレーション等のニーズを取り込むことにより、エンタープライズ企業を中心に「HULFT Square」の導入が拡大しており、当第1四半期連結累計期間における「HULFT Square」の売上は、前年同期比208.2%増となりました。

「HULFT Square」の開発は継続しながらも、売上高の増加等により売上総利益は改善しております。なお、データ連携ビジネスへのリソースシフトに伴う販管費の増加等により、746百万円の営業損失（前年同期は676百万円の営業損失）となりました。

③ システム受託事業

当事業では、主に金融・流通小売業向けに、情報処理サービス、システム開発・運用サービスを提供しております。

売上高は、2,305百万円（前年同期比14.5%減）となりました。減収の主な要因は、システム開発案件の減少等によります。営業利益は、180百万円（前年同期比472.8%増）となりました。増益の主な要因は、データ連携ビジネスへのリソースシフトに伴うコスト低減等によります。

(トピックス)

・企業・自治体における「HULFT Square」等の導入が拡大

当社グループは、「世界中のデータをつなぎ、誰もがデータを活用できる社会を作る」というミッションに基づき、自社製品を通じてお客様のデータ・AI活用やレガシーシステムのモダナイゼーションを支援しております。当第1四半期連結累計期間には、フルサト・マルカホールディングス株式会社、株式会社セブン銀行、株式会社ユーラスエナジーホールディングス、神戸市において、各々のデータ連携や生成AI活用のために「HULFT Square」や「DataSpider Servista」を導入した事例を発表しました。

・「HULFT Square」の連携テンプレートが進展

「HULFT Square」は、データ連携スクリプトを再利用しやすいパッケージ化するアプリケーション機能を提供し、お客様自身による効率的な内製開発を支援します。また、様々な業務で利用ができる連携テンプレートを提供しております。当第1四半期連結累計期間においては、HENNGE株式会社が提供するクラウドセキュリティサービス「HENNGE One」との連携テンプレートを提供開始しました。本テンプレートを活用することにより、情報システム部門の業務負荷を軽減します。

・パブリッククラウドサービス大手の表彰プログラムに選出

アマゾン ウェブ サービスの専門知識や活動実績が評価され、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社が表彰するプログラム4部門に、当社エンジニア5名が選出されました。中でも、「AWS Ambassadors」は、同社が技術スキルとクラウドの専門知識を有すると認定した300名ほどが全世界から選ばれるプログラムで、当社からは、2024年より受賞している1名の継続に加え、新たに1名が初受賞となりました。

(TSR (株主総利回り))

2021年3月末を基準 (100%) として評価をしており、その推移は次のとおりです。

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	2025年6月末
当社	93.2%	94.1%	105.3%	100.2%	102.6%
同業他社 平均※	89.4%	89.1%	107.5%	106.6%	121.1%

※GICS (世界産業分類基準) の4510: ソフトウェア・サービスに属する国内上場企業の平均値

当社のTSRは、2024年3月期以降は業界平均を下回って推移しております。これは、「HULFT Square」等の開発に伴う費用投下によりEPS (1株当たり当期純利益) が低い水準で推移しており、それが当社の株価及びTSRを引き下げている要因と推察しております。当社は、この取組みが将来の利益成長につながることをご理解いただければ、引き続き資本市場との対話に努めてまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より469百万円減少し、20,709百万円となりました。主な増加要因は、流動資産のその他に含まれる前払費用が同228百万円増加したこと等によるものであります。また、主な減少要因は、売上債権の回収により受取手形、売掛金及び契約資産が同425百万円減少したこと、税金納付及び配当金の支払等により現金及び預金が同239百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は同27百万円増加し、6,971百万円となりました。主な増加要因は、前受金が同504百万円増加したこと等によるものであります。また、主な減少要因は、賞与引当金が同364百万円減少したこと、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が105百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は同497百万円減少し、13,738百万円となりました。この要因は、利益剰余金が、剰余金処分による配当財源への割当てにより同728百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により同318百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.9ポイント減少し、66.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月13日付「2025年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,326,345	12,086,585
受取手形、売掛金及び契約資産	2,996,020	2,570,913
有価証券	500,000	500,000
仕掛品	6,111	18,400
貯蔵品	36,339	31,806
未収還付法人税等	124,439	122,056
その他	712,542	941,452
流動資産合計	16,701,799	16,271,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	900,965	901,780
減価償却累計額	△564,812	△588,594
建物及び構築物 (純額)	336,152	313,186
工具、器具及び備品	1,792,458	1,811,091
減価償却累計額	△1,436,584	△1,471,382
工具、器具及び備品 (純額)	355,873	339,708
リース資産	28,000	28,000
減価償却累計額	△21,747	△22,404
リース資産 (純額)	6,252	5,595
建設仮勘定	—	4,164
有形固定資産合計	698,278	662,654
無形固定資産		
ソフトウェア	891,275	831,636
その他	124,110	116,271
無形固定資産合計	1,015,386	947,908
投資その他の資産		
投資有価証券	747,525	780,358
敷金	577,873	577,086
退職給付に係る資産	587,964	612,040
繰延税金資産	751,356	759,166
その他	104,417	104,674
貸倒引当金	△5,104	△5,104
投資その他の資産合計	2,764,032	2,828,221
固定資産合計	4,477,698	4,438,784
資産合計	21,179,497	20,709,999

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	699,180	634,278
リース債務	1,732	1,427
設備関係未払金	14,611	4,638
未払費用	617,334	585,808
未払法人税等	37,707	190,970
前受金	3,945,377	4,450,105
賞与引当金	460,145	95,257
受注損失引当金	9,463	—
その他	739,242	589,979
流動負債合計	6,524,795	6,552,466
固定負債		
リース債務	4,932	4,569
資産除去債務	414,576	414,936
固定負債合計	419,509	419,506
負債合計	6,944,304	6,971,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,367,687	1,367,687
資本剰余金	1,454,233	1,454,233
利益剰余金	10,965,761	10,554,875
自己株式	△865	△865
株主資本合計	13,786,817	13,375,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,053	△22,624
為替換算調整勘定	350,552	325,200
退職給付に係る調整累計額	61,769	59,520
その他の包括利益累計額合計	448,375	362,095
純資産合計	14,235,192	13,738,026
負債純資産合計	21,179,497	20,709,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,569,713	5,485,032
売上原価	3,582,159	3,436,681
売上総利益	1,987,553	2,048,350
販売費及び一般管理費		
役員報酬	46,107	43,450
従業員給料及び賞与	615,201	623,931
賞与引当金繰入額	41,243	34,600
退職給付費用	35,663	34,105
福利厚生費	117,761	118,947
減価償却費	36,430	57,178
のれん償却額	131	—
研究開発費	39,719	19,768
業務委託費	151,326	164,293
その他	529,587	488,611
販売費及び一般管理費合計	1,613,172	1,584,888
営業利益	374,381	463,462
営業外収益		
受取利息	10,920	6,122
受取配当金	110	13,426
為替差益	5,073	1,764
投資事業組合運用益	139	—
持分法による投資利益	397	886
その他	460	2,454
営業外収益合計	17,102	24,653
営業外費用		
支払利息	171	74
投資事業組合運用損	—	4,917
営業外費用合計	171	4,992
経常利益	391,312	483,123
特別損失		
固定資産処分損	52	—
特別損失合計	52	—
税金等調整前四半期純利益	391,259	483,123
法人税等	142,877	165,035
四半期純利益	248,382	318,087
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,382	318,087

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	248,382	318,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,637	△58,678
為替換算調整勘定	66,663	△28,069
退職給付に係る調整額	△3,055	△2,249
持分法適用会社に対する持分相当額	8,372	2,717
その他の包括利益合計	73,617	△86,280
四半期包括利益	322,000	231,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322,000	231,807

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	HULFT事業	データプラットフォーム事業	システム受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,326,289	548,656	2,694,767	5,569,713	—	5,569,713
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,326,289	548,656	2,694,767	5,569,713	—	5,569,713
セグメント利益又は損失(△)	1,018,928	△676,029	31,482	374,381	—	374,381

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	HULFT事業	データプラットフォーム事業	システム受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,473,288	706,557	2,305,186	5,485,032	—	5,485,032
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,473,288	706,557	2,305,186	5,485,032	—	5,485,032
セグメント利益又は損失(△)	1,029,284	△746,167	180,345	463,462	—	463,462

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社グループの報告セグメントは、従来「HULFT事業」、「データプラットフォーム事業」、「流通ITサービス事業」、「フィナンシャルITサービス事業」としていましたが、当第1四半期連結累計期間より「流通ITサービス事業」と「フィナンシャルITサービス事業」を統合し、「システム受託事業」としております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	165,970千円	200,747千円
のれんの償却額	131	—